

貯 法：室温保存
有効期間：3年

血液代用剤 日本薬局方 生理食塩液

承認番号	21900AMX01477
販売開始	1957年6月

生理食塩液「フソー」

処方箋医薬品^{注)}

注) 注意—医師等の処方箋
により使用すること

Isotonic Sodium Chloride Solution “FUSO”

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	生理食塩液「フソー」	
容量	5mL	
有効成分	1管中 日局 塩化ナトリウム 0.045g	
電解質濃度 (mEq/L：理論値)	Na ⁺	Cl ⁻
	154.0	154.0

3.2 製剤の性状

販売名	生理食塩液「フソー」
剤形	水性注射剤
性状	無色澄明の液で、弱い塩味がある。
pH	4.5～8.0

4. 効能・効果

〈注射〉

細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤

〈外用〉

皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含嗽・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進

〈その他〉

医療器具の洗浄

6. 用法・用量

〈注射〉

- (1) 通常20～1,000mLを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
(2) 適量を取り注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。

〈外用〉

- (1) 皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
(2) 含嗽、噴霧吸入に用いる。

〈その他〉

医療器具の洗浄に用いる。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 心臓、循環器系機能障害のある患者

循環血液量の増加により、症状が悪化するおそれがある。

9.2 腎機能障害患者

水分、塩化ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。

9.8 高齢者

投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
大量・急速投与	血清電解質異常、うっ血性心不全、浮腫、アシドーシス

14. 適用上の注意

14.1 全般的な注意

使用時には、感染に対する配慮をすること。

14.2 薬剤調製時の注意

注射剤の溶解希釈剤として使用する場合は、生理食塩液が適切であることを確認すること。

14.3 薬剤投与時の注意

14.3.1 ゆっくり静脈内に投与すること。

14.3.2 残液は使用しないこと。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

外科手術などで水又は電解質が欠乏している脱水症のときに、有効細胞外液量の維持と循環機能の安定化を目的として使用する。また、緊急時、輸血までの間、一時的に血漿量を維持する目的でも使用される。細胞外液とほぼ等張で細胞障害性がないため、医薬品の溶剤や皮膚・粘膜の洗浄剤としても使用される¹⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般名：塩化ナトリウム (Sodium Chloride)

分子式：NaCl

分子量：58.44

性 状：無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。水に溶けやすく、エタノール（99.5）にほとんど溶けない。

22. 包装

5mL 10管 ガラスアンプル

5mL 50管 ガラスアンプル

23. 主要文献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店、2021：C-2662-2663

*24. 文献請求先及び問い合わせ先

扶桑薬品工業株式会社 くすり相談室
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目7番10号
TEL 0800-800-6363（フリーアクセス）
FAX 06-6969-2361
（9：00～17：30/土日祝日を除く）

26. 製造販売業者等

*26.1 製造販売元

 **扶桑薬品工業株式会社**
大阪市中央区道修町一丁目7番10号